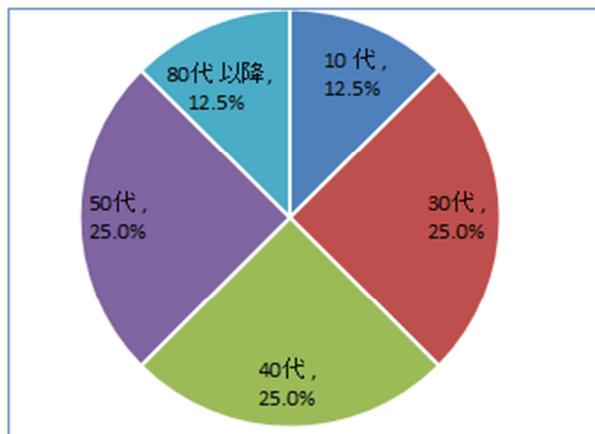


令和6年度第3回 希望を持てる新しい日向市座談会 アンケート結果

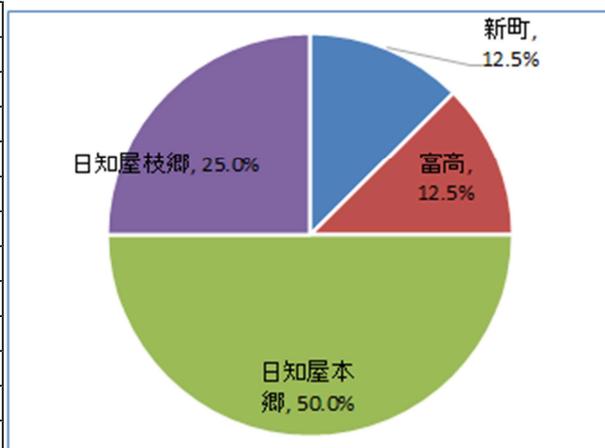
Q 1. あなたの年代を教えてください。

| 選択肢 | | 割合 | 件数 |
|-----|-------|-------|----|
| 1 | 10代 | 12.5% | 1 |
| 2 | 20代 | 0.0% | 0 |
| 3 | 30代 | 25.0% | 2 |
| 4 | 40代 | 25.0% | 2 |
| 5 | 50代 | 25.0% | 2 |
| 6 | 60代 | 0.0% | 0 |
| 7 | 70代 | 0.0% | 0 |
| 8 | 80代以降 | 12.5% | 1 |
| a | 無回答 | 0.0% | 0 |
| 合計 | | 100% | 8 |



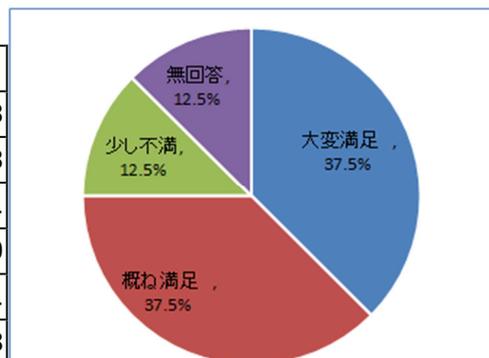
Q 2. あなたがお住まいの地区名をお書きください。

| 選択肢 | | 割合 | 件数 |
|-----|----------------|-------|----|
| 1 | 新町 | 12.5% | 1 |
| 2 | 富高 | 12.5% | 1 |
| 3 | 塩見 | 0.0% | 0 |
| 4 | 財光寺 | 0.0% | 0 |
| 5 | 日知屋本郷 | 50.0% | 4 |
| 6 | 日知屋枝郷 | 25.0% | 2 |
| 7 | 細島 | 0.0% | 0 |
| 8 | 平岩 | 0.0% | 0 |
| 9 | 南部 (幸脇・美々津・寺迫) | 0.0% | 0 |
| 10 | 東郷地区 | 0.0% | 0 |
| a | 無回答・市外 | 0.0% | 0 |
| 合計 | | 100% | 8 |



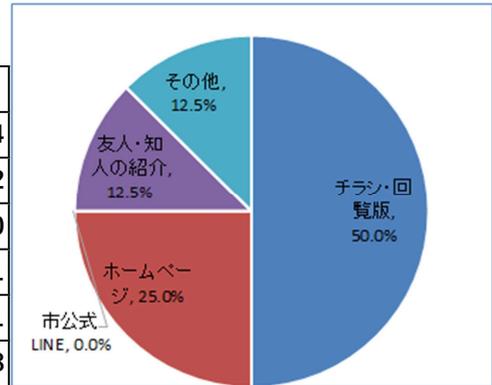
Q 3. 本日の座談会の感想をお聞かせください。

| 選択肢 | | 割合 | 件数 |
|-----|------|--------|----|
| 1 | 大変満足 | 37.5% | 3 |
| 2 | 概ね満足 | 37.5% | 3 |
| 3 | 少し不満 | 12.5% | 1 |
| 4 | 不満 | 0.0% | 0 |
| a | 無回答 | 12.5% | 1 |
| 合計 | | 100.0% | 8 |



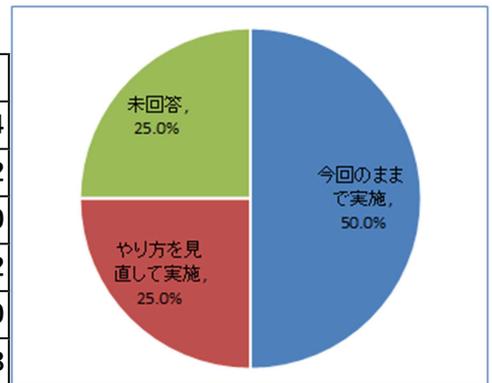
Q 4. 本日の座談会をどのようにして知りましたか。(複数回答)

| 選択肢 | | 割合 | 件数 |
|-----|----------|-------|----|
| 1 | チラシ・回覧版 | 50.0% | 4 |
| 2 | ホームページ | 25.0% | 2 |
| 3 | 市公式LINE | 0.0% | 0 |
| 4 | 友人・知人の紹介 | 12.5% | 1 |
| 5 | その他 | 12.5% | 1 |
| 合計 | | 100% | 8 |



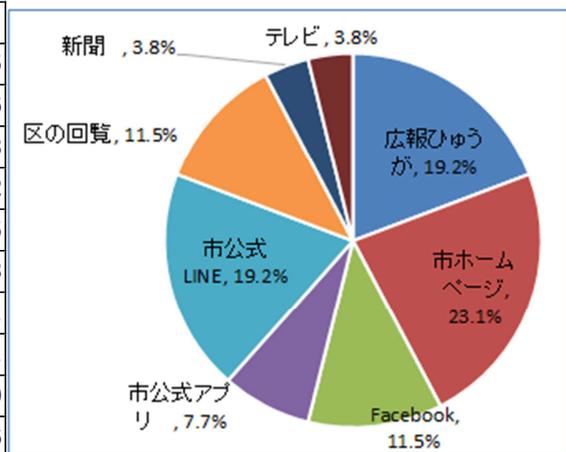
Q 5. 今後の座談会の実施について

| 選択肢 | | 割合 | 件数 |
|-----|------------|-------|----|
| 1 | 今回のままで実施 | 50.0% | 4 |
| 2 | やり方を見直して実施 | 25.0% | 2 |
| 3 | 実施しなくてよい | 0.0% | 0 |
| 4 | 未回答 | 25.0% | 2 |
| | | 0.0% | 0 |
| 合計 | | 100% | 8 |

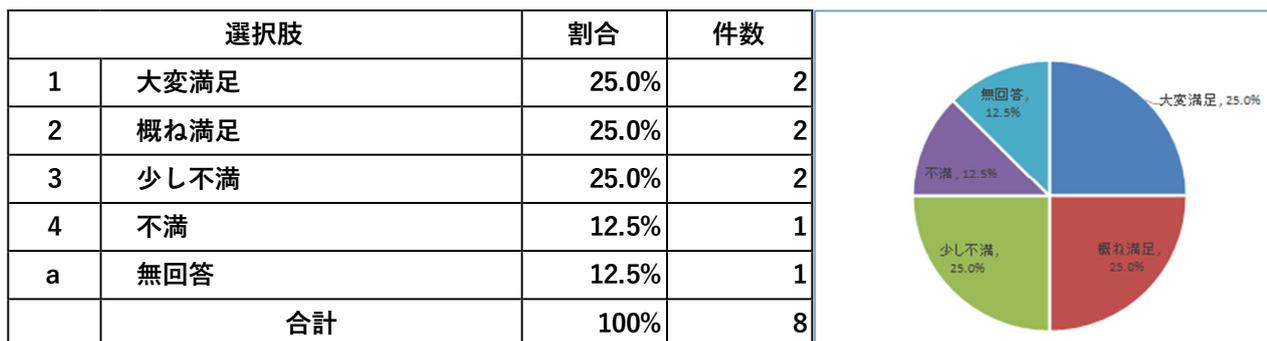


Q 6. 市からの行政情報等の情報を得るために、よく利用する方法を、ご記入ください。(複数回答)

| 選択肢 | | 割合 | 件数 |
|-----|----------|-------|----|
| 1 | 広報ひょうが | 19.2% | 5 |
| 2 | 市ホームページ | 23.1% | 6 |
| 3 | Facebook | 11.5% | 3 |
| 4 | 市公式アプリ | 7.7% | 2 |
| 5 | 市公式LINE | 19.2% | 5 |
| 6 | 区の回覧 | 11.5% | 3 |
| 7 | 新聞 | 3.8% | 1 |
| 8 | テレビ | 3.8% | 1 |
| 9 | ラジオ | 0.0% | 0 |
| 合計 | | 100% | 26 |



Q 7. 市が行う行政情報の提供について、ご記入ください。



Q 8. 市の情報提供に関して、ご意見・ご要望があれば、自由に記入をお願いします。

- ・富高地区の道路の悪さ、白線などが消えてる
- ・大変かと思いますが、これからも提供し続けてほしい。
- ・市民全員が情報を得られるようにしてほしい。周りから良く聞く声として「日向はPRが下手」「市民が知らないことの方が多い」「イベントも終わった後にニュースで知る」などがあります。情報に疎い人、SNSを利用しない人、高齢者、情報弱者に向けての情報発信をどのように行っていくのか検討して欲しいです。また市民が参加する、市民が盛り上げる、市民を巻き込んで活動やイベントを実施し、周りの市区町村へアピールしていくことが日向市には足りないと思っています。
- ・年代ごとに行政情報の提供方法を検討する必要があるのでは？ 行政情報に興味・関心のない市民に対して、行政としてどのように働きかけて行くのかを以前より問われている状況であり、抜本的な解決策（行政としての取り組み）を見いだせないでいるのでは？声をあげたくてもあげられない市民の声を聴く方法を検討する必要はないか？

Q 9. 「持続可能な地域を作るために」提案したいこと。

- ・区内の行事などへ若い人の参加が少しずつだが多くなっている。行政に携わられている人が多くいるので助かっている。。
- ・景観フォトコンテストの情報開示をしてほしい。
- ・これからも意見を聞いてほしい。
- ・地方が財政難というのは国が地方に対して予算を付けないから。地方からしっかりと国に対して財政措置するよう訴えてください。
- ・日向市において出生率の低下、出産を見込める世代（20代～40代）の人口流出などの影響により、子どもの数が加速度的に減少していることが重大な問題になっていることは明らかです。保育園経営にもおいても、利用園児数が減少し、定員割れをきたしている園が多数散見されている状況です。認可保育園の収入である委託費は利用園児数によって設定されており、子どもの人口減少に比例して収入は年々減り続けている状態です。世間的な賃上げや保育士の高齢化に伴う人件費高騰、物価高騰に対応できなくなっている現状もあります。今後は閉園を余儀なくされるケース、定員数を減らし小規模経営となるケース、他園との統合を図るケースな

ど、現状の改善ではなく延命処置をおこなっていく方法での打開案しかないことに不安がつるばかりです。これらの現状に対し、「こどもまんなか応援サポーター」に就任した日向市において、現市長の政策で実施されたのは中学３年生の後期における給食費無償化という一部世帯をターゲットにした奇天烈的なものでした。中学３年生の給食費が無償化されたことに魅力を感じ、日向市に移住してきた子育て世代がどれくらいいたのか検討もつきません。日向市として尽力していただきたいのは、出産に対しての支援であれば、産婦人科の経営を安定させ、出産前後の費用負担軽減や不妊治療に対しての費用・精神的負担を現行以上の補助金やサポート体制で支えていくことを実行していただきたいです。また、出産を見込める世代の流出を阻止し、移住を増やしていくには、宮崎県の他市でも行われている０歳～２歳児までの保育料無償化は必須命題であり、その上で差別化を図るための若い世代をターゲットにした施設（隣市町村にはないもの、大型ショッピング施設、子どもが安心して遊べる屋内遊具場など）の建設や働きたいと思えるような就職先を増やし、生活の質の向上を図るべきであると考えます。日向市がこだわってきたサーフィンや若山牧水などによる魅力発信では現状を打破できないことは明白であり、新たな街造りに転換されていくことを期待しております。

- ・日向市行政として、「持続可能な地域…」をどのように考えているのかが伝わってこない。他の自治体においてもすでに様々な取り組みがなされており、日向市は出遅れている感がある。この座談会にも「希望」の文字があるが、市民が希望を持てるような行政政策を市民に対して訴え、問うていくことが必要と考える。この座談会等の取り組み自体は評価できるが、座談会を活かした次の展開（市民の意識や行動変容、そのため行政の動き）が重要と考える。寄せられた意見や想いをどのように政策に反映させていくのか期待したい。地域社会を構成する一員として、市民に対する意識や行動に働きかけることが「持続可能…」には必要ではないかと考えます。